



**種名**：アオウオ *Mylopharyngodon piceus*

**分類**：国外外来種 2E：総合(その他)※

2E：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種。

※我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト

## ○大きさ

- ・成魚：100～150cm（最大：1.5m以上）

## ○生息箇所(すみか)

- ・利根川下流部や霞ヶ浦に生息しています。

## ○生態(どんな生活をしているか)

- ・動物食(どうぶつしょく)で主にタニシやシジミ等の貝類(かいるい)や甲殻類(えびやか)に、水生昆虫(ヤゴやカゲロウ等)を食べる。
- ・初夏(6～7月)に中流域(ちゅうりゅういき)まで移動(いどう)して、雨がふった後の増水中に産卵(さんらん)します。※ハクレンと同じ。
- ・卵は河川を流れながらおおきくなるため、短い川や湖沼では増えることができません。

## ○釣りや漁業

- ・食性を利用して、餌釣り(えづり)で釣れるようです。魚体(いしん)が大きいので十分な準備(じゅんび)が必要(ひつや)ですね。
- ・漁業(りょうぎょう)や水産利用(すいさんりよう)は殆どありません。

## ○地域利用

- ・中国では四大家魚(よんだいかぎょ)として珍重(ちんちょう)されますが、日本ではほとんど利用(りよう)されていません。
- ・広東料理(こうとうりょうり)では清蒸魚(ちんじョンユイ)等々のたくさん(たか)の料理方法(りょうりほうほう)があります。